

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】 第 3 部門第 2 区分

【発行日】 平成 18 年 3 月 23 日 (2006.3.23)

【公開番号】 特開 2004-143134(P2004-143134A)

【公開日】 平成 16 年 5 月 20 日 (2004.5.20)

【年通号数】 公開・登録公報 2004-019

【出願番号】 特願 2003-35096(P2003-35096)

【国際特許分類】

C 0 7 D 217/24 (2006.01)

A 6 1 K 31/472 (2006.01)

A 6 1 K 31/4725 (2006.01)

A 6 1 K 31/497 (2006.01)

A 6 1 K 31/506 (2006.01)

A 6 1 K 31/5377 (2006.01)

A 6 1 P 1/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/16 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 D 217/26 (2006.01)

C 0 7 D 401/04 (2006.01)

C 0 7 D 401/06 (2006.01)

C 0 7 D 401/10 (2006.01)

C 0 7 D 401/12 (2006.01)

C 0 7 D 403/04 (2006.01)

C 0 7 D 405/06 (2006.01)

C 0 7 D 405/14 (2006.01)

C 0 7 D 409/06 (2006.01)

C 0 7 D 409/14 (2006.01)

C 0 7 D 413/06 (2006.01)

C 0 7 D 413/10 (2006.01)

C 0 7 D 413/14 (2006.01)

C 0 7 D 417/06 (2006.01)

C 0 7 D 417/10 (2006.01)

C 0 7 D 417/12 (2006.01)

C 0 7 D 419/10 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 217/24

A 6 1 K 31/472

A 6 1 K 31/4725

A 6 1 K 31/497

A 6 1 K 31/506

A 6 1 K 31/5377

A 6 1 P	1/00	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	9/10	1 0 1
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	25/16	
A 6 1 P	25/28	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
C 0 7 D	217/26	
C 0 7 D	401/04	
C 0 7 D	401/06	
C 0 7 D	401/10	
C 0 7 D	401/12	
C 0 7 D	403/04	
C 0 7 D	405/06	
C 0 7 D	405/14	
C 0 7 D	409/06	
C 0 7 D	409/14	
C 0 7 D	413/06	
C 0 7 D	413/10	
C 0 7 D	413/14	
C 0 7 D	417/06	
C 0 7 D	417/10	
C 0 7 D	417/12	
C 0 7 D	419/10	

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月8日(2006.2.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

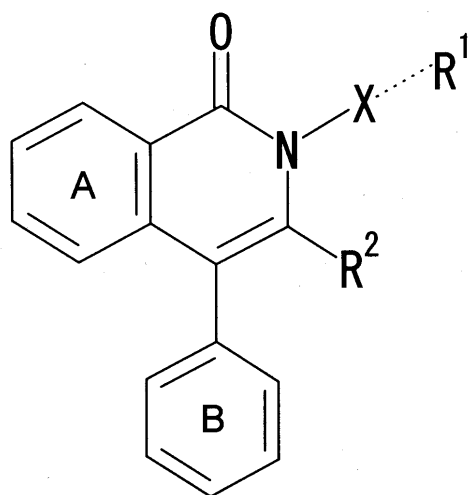
【特許請求の範囲】

【請求項1】イソキノリノン骨格を有する化合物またはその塩を含有することを特徴とするJNK阻害剤。

【請求項2】イソキノリノン骨格を有する化合物が4位に置換されていてもよいベンゼン環を有する1-イソキノリノン骨格を有する化合物である請求項1記載の剤。

【請求項3】イソキノリノン骨格を有する化合物が式

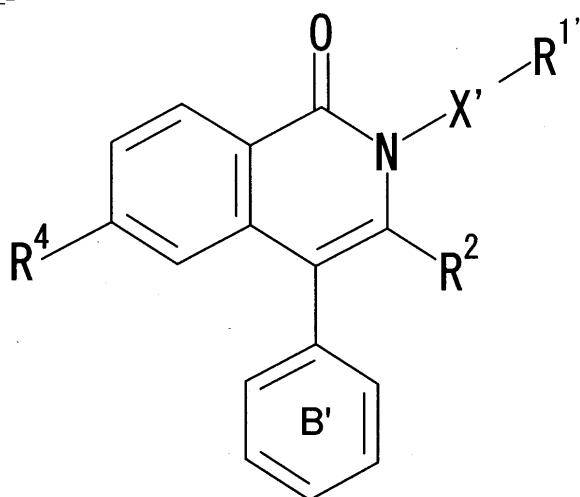
【化1】



〔式中、環Aおよび環Bはそれぞれ置換されていてもよいベンゼン環を示し、Xは—O—、—N=、—NR³—または—CHR³—（R³は水素原子または置換されていてもよい炭化水素基を示すか、あるいは、R¹と結合して3ないし8員環を形成していてもよい）を示し、R²は置換されていてもよいヒドロキシ基、置換されていてもよいチオール基、置換スルフィニル基、置換スルホニル基およびエステル化されていてもよいカルボキシル基から選ばれた置換基を有していてもよい炭化水素基、アシル基、エステル化あるいはチオエステル化されていてもよいカルボキシル基、置換されていてもよいカルバモイル基または置換されていてもよいアミノ基を示し、破線は一重結合または二重結合を示し、Xが—O—、—NR³—または—CHR³—を示すとき、R¹は水素原子、置換されていてもよい炭化水素基または置換されていてもよい複素環基を示し、Xが—N=を示すとき、R¹は置換されていてもよい二価の炭化水素基または置換されていてもよい二価の複素環基を示す。〕で表される化合物である請求項1記載の剤。

【請求項4】式

【化2】



〔式中、環B'は2個以下の置換基を有していてもよいベンゼン環を示し、X'は—CH₂—を示し、R¹'は置換されていてもよいフェニル基または環構成炭素原子を介して結合する置換されていてもよい複素環基を示し、R²は置換されていてもよいヒドロキシ基、置換されていてもよいチオール基、置換スルフィニル基、置換スルホニル基およびエステル化されていてもよいカルボキシル基から選ばれた置換基を有していてもよい炭化水素基、アシル基、エステル化あるいはチオエステル化されていてもよいカルボキシル基、置

換されていてもよいカルバモイル基または置換されていてもよいアミノ基を示し、 R^4 は水素原子、ハロゲン原子、シアノ基、置換されていてもよい炭化水素基、置換されていてもよい複素環基、置換されていてもよいヒドロキシ基、置換されていてもよいチオール基、置換スルフィニル基、置換スルホニル基、置換されていてもよいアミノ基、置換されていてもよいカルバモイル基またはエステル化されていてもよいカルボキシル基を示す。〕で表される化合物またはその塩。

【請求項 5】 R^4 がハロゲン原子、置換されていてもよいアルキル基または置換されていてもよいアミノ基である請求項 4 記載の化合物。

【請求項 6】環 B' がメタおよび／またはパラ位に置換基を有していてもよいベンゼン環である請求項 4 記載の化合物。

【請求項 7】 R^2 が置換されていてもよいヒドロキシ基で置換された炭化水素基、エステル化あるいはチオエステル化されていてもよいカルボキシル基、置換されていてもよいカルバモイル基、置換されていてもよいアミノ基またはアシル基である請求項 4 記載の化合物。

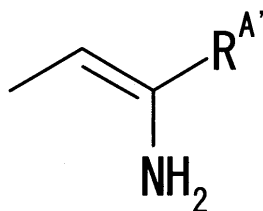
【請求項 8】 R^2 が置換されていてもよいフェニル基および置換されていてもよいピリジル基から選ばれた置換基で置換されていてもよいアルキルでエステル化あるいは置換されていてもよいピリジル基でチオエステル化されていてもよいカルボキシル基である請求項 4 記載の化合物。

【請求項 9】 R^2 がアシル基である請求項 4 記載の化合物。

【請求項 10】 R^2 が $R^A CO$ (R^A は水素原子、置換されていてもよい炭化水素基または置換されていてもよい複素環基を示す) である請求項 4 記載の化合物。

【請求項 11】 R^A が C_{1-7} アルキル基または式

【化 3】



〔式中、 R^A' は C_{1-5} アルキル基またはエステル化されていてもよいカルボキシル基を示す。〕で表される基である請求項 10 記載の化合物。

【請求項 12】 R^1 がメタおよび／またはパラ位に置換基を有するフェニル基である請求項 4 記載の化合物。

【請求項 13】 R^1 が環構成炭素原子を介して結合する置換されていてもよい含窒素複素環基である請求項 4 記載の化合物。

【請求項 14】含窒素複素環基が炭素原子および窒素原子から構成される含窒素複素環基である請求項 13 記載の化合物。

【請求項 15】含窒素複素環基が芳香族含窒素複素環基である請求項 13 記載の化合物。

【請求項 16】請求項 4 記載の化合物のプロドラッグ。

【請求項 17】請求項 4 または 16 記載の化合物を含有することを特徴とする医薬。